

“地域の宝”で地元への愛着にみちた「ふるさと宮古」へ

プロジェクトの概要

・宮古市は、北上山地の森林と三陸海岸の海産物に恵まれ、閉伊川などの河川流域で生活し、歴史文化を育んできました。市内には浄土ヶ浜・崎山貝塚・黒森神楽・北上山地川井村の山村生産用具コレクションなどの国指定文化財のほか、多種多様な文化財が127件、指定・登録されています。
・文化財だけでなく、自然や景色、産業や特産物・郷土食、伝説・災害伝承、「まつり」行事や学びと体験などを“地域の宝”として見出します。そして、“地域の宝”のまとまりを“森・川・海の歴史文化”ととらえ、地元への愛着や誇りにみちた「ふるさと宮古」の創造につなげます。



募集概要

●対象事業
森・川・海の歴史文化継承プロジェクト
●事業費
6,000万円
●寄附目標額
3,000万円

市ホームページ
宮古市の
企業版ふるさと納税

事業の具体的な内容

▸地域の宝さがし
市内各地域の住民と共同で、地域の自然と歴史文化など「地域の宝」を掘り起こし、「地域の宝マップ」を作成し、見学会を行うなど地域振興を図ります。

▸民俗芸能の伝承活動支援
民俗芸能の発表会（郷土芸能祭）を開催し、道具衣装更新や後継者育成の費用を支援します。

▸盛合家住宅主屋・庭園の整備
江戸時代、津軽石鮭漁の瀬主であった盛合氏が調え、座敷などが当時のまま残された盛合家住宅主屋及び庭園の管理・活用の充実を図ります。

▸展示・公開の充実と地域連携
崎山貝塚縄文の森ミュージアムと北上山地民俗資料館、における展示や体験事業の充実を図り、宮古の歴史文化にふれる機会を提供します。


盛合家住宅


北上山地民俗資料館

企業の皆様へのメッセージ

・文化財と「地域の宝」を保存・活用することで、「ふるさと宮古」への思いが醸成され、地域の振興や地元への定着につなげます。また、“森・川・海の歴史文化”の特色や魅力を広く発信することで、観光や交流人口の拡大を目指します。
・人口減少や農林水産業の不振、たび重なる災害などにより歴史文化の継承はますます困難になっています。森・川・海の歴史文化の継承にご理解とご支援をお願いいたします。

宮古市
Miyako City